

JDBA：公式ルールブック《第7版》主要改正・改訂項目一覧

★『赤文字』表記部 ⇒ 主要改正項目および改訂項目

【全般】

一般財団法人 日本ドッジボール協会 ⇒ (追加)

【表紙 + 裏表紙】

《2009 - 2010 年度版》 ⇒ (追加)

【はじめに】

～自ずと勝敗を決するけっするものでは～ ⇒ (第6版:最終行)

【目次】

第405条 指導 ⇒ (追加)

第8章 プレイの規定 P16

第9章 反則(ファール) P23

第910条 キープ・フォー・ファイブ (オーバータイム) ⇒ (削除)

第920条 ファールの重複

【第1章 チーム】

第102条 チーム編成 3) 兼任プレイヤー(Playing Manager=PM) ⇒ (削除)

第107条 緊急プレイヤー 1) 緊急プレイヤー(Emergency Player) ⇒ (削除)

【第2章 競技場】

第201条 コート及びゾーン 4) ~、プレイに危険のない～

第201条 コート及びゾーン [図]1 I・ペナルティベンチ

第201条 コート及びゾーン [図1] ③・インプレイゾーン

【第4章 罰則】

第401条 罰則 ~。なお、罰則は記録用紙に記録される。

第404条 失格 4) 審判員から、チームに対してプレイ及び言動の改善をもとめられたにも係わらず、指示に従わなかった場合、そのチームは「失格」となる。失格を宣告されたチームは、本条 1), 2), 3) に準じ、出場資格の剥奪、試合会場からの退去、以降の試合への参加不可の対象となる。その後の処分は「日本ドッジボール協会 競技委員会」で決定し、当該チームが所属する都道府県協会に通知する。 ⇒ (追加)

第405条 指導 各審判員は、軽度なマナー違反に対して指導することができる。改善されない場合には、テクニカルファール(第919条)を適用する。 ⇒ (追加)

【第5章 ゲームオフィシャル】

第504条 計時員 3) ③ ~及びアウト・オブ・バーンズの判定時

【第6章 審判員】

第602条 主審 ⑥ 競技規則・第405条に基づき「指導」することができる。

第603条	副審	⑤ 競技規則・第405条に基づき「指導」することができる。	⇒ (追加)
第604条	線審	④ 旗を携帯する。	
第604条	線審	⑤ 競技規則・第405条に基づき「指導」することができる。	⇒ (追加)

【第7章 競技方法】

第702条	試合形式	5) 試合時間の計測には、「実働制」と「ランニングタイム制」がある。計測方法は、競技規則・第504条 2), 3)による。	⇒ (追加)
第704条	試合終了	1) 試合終了は、計時員の試合終了の合図(ブザーまたは~	
第704条	試合終了	2) 試合終了と同時にプレイヤーの手から離れた~	
第705条	試合放棄・不戦勝	② 競技規則・第404条 4)により、「失格」となったチームの相手チームを不戦勝とする。	
第706条	不完全となったチーム	不完全となったチームについては次のとおりとする。ただし、①については以降の②～④の事態が生じていないことを前提とした「原則」の意味で解釈する。	
第706条	不完全となったチーム	① ジャンプボールから試合終了までの間、~	
第709条	オフィシャルタイムアウト	2) ② プレイ中のプレイヤーに負傷者がでているのにも~	
第709条	オフィシャルタイムアウト	2) ③ アウトになったプレイヤーが外野に移動しない、または～アウトにしていないのに内野に移動したプレイヤーに～	

【第8章 プレイの規定】

第802条	アタック	② ①の条件を満たし且つ内野プレイヤーの～	
第803条	パス	② ～内野プレイヤーが捕球した状態も同じ。	
第805条	アシストキャッチ	1) ～ボールが、内野エリア内でプレイ中の味方内野プレイヤーに当たり、～	
第806条	セーフ	④ セーフは次の場合と定める。	⇒ (削除)
第808条	ボールデッド	③ (①②③以上、アウト・オブ・バーンズ)	
第808条	ボールデッド	⑥ (副審・線審より要求のあったとき)	⇒ (追加)
第808条	ボールデッド	⑦ インプレイゾーン内で停止している～	
第809条	ボールの支配権	1) ③ ～触った場合(第908条・第909条)は除く。	
第809条	ボールの支配権	3) ～対して、第809条 2)①、②を適用する。ただし、故意に～	
第809条	ボールの支配権	4) インプレイゾーンで～ ～対して、第809条 2)①、②を適用する。	
第810条	内外野への移動	1) プレイヤーはインプレイのとき下記の①、②の場合を除き～	
第813条	ジャンプボール	1) ⑤ ～、ジャンパーは掌で軽くボールを叩く。	
第814条	試合再開	① 内野から試合を再開する場合はボールを保有しているプレイヤーが～	
第814条	試合再開	② ～、または支配権の移動でボールを保有したプレイヤーが～	
第815条	内野復帰権	1) ① ～復帰する前に試合終了となった場合は、競技規則・第811条に～	
第815条	内野復帰権	1) ③ ～。ただし、競技規則・第815条 3)の場合を除く。	

第815条 内野復帰権 2) ~、相手内野プレイヤーをアウトにして内野エリアに復帰する場合、～指示があったにも拘わらず内野プレイヤーとならない場合は、～

【第9章 反則(ファール)】

第902条 ファイブパス ① パスが連続している間にワンタッチ(第809条 2) ①)があり～

第906条 ヘッドアタック ① 相手内野プレイヤーの顔、頭にノーバウンドの投球が～

第906条 ヘッドアタック ② ～または、イリーガル・キャッチのファールとなり、ヘッドアタックは～

第919条 テクニカルファール 1) 試合中、プレイヤーが危険行為や重大なマナー違反を行った場合、テクニカルファールとし、ボールの支配権が相手の内野に移動する。テクニカルファールを犯したプレイヤーは、イエローカードにより「警告」を受ける

(① ～ ⑥ ⇒ テキストブックへ移行)

第919条 テクニカルファール 2) 試合中、監督及び控えのプレイヤーが危険行為や重大なマナー違反を行った場合、テクニカルファールとし、ボールの支配権が相手の内野に移動する。テクニカルファールを犯した監督等または控えのプレイヤーは、イエローカードにより「警告」を受ける。

(① ～ ⑤ ⇒ テキストブックへ移行)

第919条 テクニカルファール 3) ～、テクニカルファールをおかしたプレイヤー、監督等は、イエローカードにより「警告」を受ける。

第920条 ファールの重複 ファールが連続してあった場合は最初のファールを適用する。ファールの判定が各審判員で異なった場合は、重い方を適用する。

【主審・副審・線審の動作】

主審の動作

試合終了 ⇒ (第6版:タイムアップ)

ヘッドアタック ※頭を軽く掌で二回たたく。

副審の動作

試合終了 ⇒ (追加)

主審の試合終了の動作と笛を吹き、原則として主審の動作・吹笛に合わせて行う。
(※主審が直ぐに試合終了の動作・吹笛を行う事が出来ない場合、副審が主審に先行しても差し支えない)

線審の動作

アドバンテージ ⇒ (追加)

ファール動作と同様に旗を人に向け(笛・コールなし)、解除の場合は旗を下ろす。

ノータッチB

※外野プレイヤーが手でボールタッチ後、他の部位に触れてアウト・オブ・バーンズとなった～

ファール

※旗を人に向けてから個々のファール動作。(主審の動作に順ずる) ⇒ (追加)